



2025 - 26年度
会長 青山 圭一
幹事 島田 修

会長あいさつ 青山 圭一 会長



高市総理が国会答弁をめぐって中国からプレッシャーをかけられている。向こうはトップの方針に100%同じ行動をとらなければならない国だ。実際に経済をはじめとして公務で取り組まなければいけない人は大変だ。

本日は中田夫人と澤崎君の誕生祝がある。中田君の奥さんは私の中学の同級生。1つアドバイスするなら仲が良くても24時間一緒にいてはだめ。時々いなくなるという。また料理の負担を軽減するために週に1, 2回食事に行くことが家庭の平和になると思う。

出席報告

3448回 13名 72.22%
3446回 メークアップ なし
3446回 50.00%

表彰式



特別表彰 在籍45周年(記念品) 辻 浩君
45年はあっという間。入会した時は20代後半で元気はつらつだった。大先輩からいろんなことを教えてもらった。これからもお付き合いください。

Happy Birthday



中田夫人
妻は71歳。結婚して45年になります。あと5年で金婚式。その時は盛大にやりたいと思います。私は6月で会社をやめコーラスやスポーツをやっています。



澤崎 豊君
昭和37年生まれで日本が伸びゆく時期に生を受けました。失われた30年を取り戻すため昭和の心をもって頑張っていきます。

卓話「富山マラソンの走り方」

釣谷秀樹君



現在61歳。大学卒業後、記者志望で1983年に北日本新聞社に入社した。事業、広告、販売、経営企画など、様々な部署を経験したが、実は記者経験だけがなく残念に思っている。転機は、2013年3月に

富山マラソン開催が決まったこと。弊社と富山県が主体となって事業を行うことになり、4月に県庁内に発足したマラソン実行委員会に出向することになった。当時49歳。事務局は私を含め5人で、ゼロからのスタートだった。大会そのものの準備はもちろんだが、1万人規模の参加者を募集することが同じくらいたいへんだった。未経験者にマラソン参加を呼び掛けるのに、実際走ってみようと事務局全員でルーマラソンに挑戦。走るのは大変だったが、走り切った喜びやその後の打ち上げの楽しさが忘れられず、これがランニング人生のスイッチとなった。その後、10km、ハーフマラソンとステップアップし、翌年、4月長野マラソンに初挑戦し、無事完走。走っている間は苦しかったが、ゴール後の達成感や沿道の応援が格別で、すぐに「また走りたい」と思うようになった。これまでフルマラソン30回以上だけでなくトレイルランや駅伝などさまざまな競技で走っている。そのため練習はガチでやっており、年間2600km以上走っている。また、ランナー同士の飲み会も大きな楽しみで、みな過去を振り返っている暇がない。次はどうするのが常に話題になり、前向きな話しかないのもいい。

富山マラソンは制限時間7時間、完走率95.5%と初心者にも優しい大会。新湊大橋の景色や、給食、沿道の応援が大きな魅力。参加者は中高年以上が多い。初心者へのアドバイスとして、最も大事なものは「無理をしない」こと。練習はウォーキングから始め、最初は2か月ぐらいかけて「長時間動き続ける体力」をつけることが重要。次の2か月で歩きとジョギング、それから徐々に走る距離を延ばしていけばよい。人生一度はフルマラソン。富山マラソンにぜひ挑戦して欲しい。安全に、そして楽しく目標を達成してもらえんことを願っている。

ニコボックス報告

辻 浩君 あっという間の45年でした。
朝野昌成君 長寿ロータリアンのお礼として。

よいことのために
手を取りあおう



2025 - 26年度
会長 青山 圭一
幹事 島田 修

会長あいさつ 青山 圭一 会長



今日は少し雪が積もっていた。テレビで転倒対策の話をしていたが毛糸の帽子をかぶり、リュックを背負っていると転んだ時にクッションになって体を守れると言っていた。医療の立場で言うと足元がしっかりしない人や高齢者は大腿骨、頸部の付け根にパッドを入れておくと何かというときに役に立つ。

出席報告

3449回 12名 66.6%
3447回 メークアップ 辻さん、澤崎さん
3447回 66.6%→77.7%

2024年—25年度 皆出席者表彰

2025年6月末時点で皆出席者7人のうち、当日出席の5人に表彰状が贈呈された。

- 辻 浩さん (44年)
- 川岸芳雄さん (12年)
- 青山圭一さん (8年)
- 愛宕 彰さん (7年)
- 吉森勝代さん (5年)
- 茶谷 勝さん (4年)
- 大江忠男さん (1年)



ニコボックス報告

青山圭一さん 皆出席の皆様おめでとうございます。今後とも皆出席の継続をお願いいたします。

川岸芳雄さん 会員の皆さんと好意と友情を深めることができました。今後ともよろしく願います。

辻 浩さん 頑張ってます。

国際ロータリー第2610地区富山第一グループIM 宇奈月ロータリークラブ創立40周年記念祝賀式



IMと祝賀式が11月29日、黒部市宇奈月町のうなづき友学館で開かれ、会員や関係者約90人が懇親を深めた。当会からは13人が出席した。祝賀式では青山会長が祝辞を述べた。

年次総会

魚津RC定款第8条2節に基づく年次総会が開かれ、青山会長から次期会長に岩崎正人さん、幹事に大江忠男さんが推薦され、拍手で承認された。例年、この時期に2年後の会長も選出しているが、これについては今後の課題が多いことから、理事会で岩崎エレクトともに相談したいと提案があり了承された。また、当クラブの2024年7月1日から25年6月の会計監査について、決算書および関係書類が適正に処理されていることを監事の朝野昌成さんが確認されたことの報告があった。



岩崎正人会長エレクトあいさつ
入会して5、6年になるがこのクラブの活動ぐらいい経験していないので懸念もあるが、長い歴史のクラブを次世代に引き継ぐのが最大の役割だと思っている。



大江忠男次期幹事あいさつ
島田幹事に教わりながら、明るく楽しい会にしていきたい。例会が始まる前に3分間スピーチなどをやると盛り上がるのではないかな。

魚津市2RCクラブ合併問題協議会について

総会に先立ち、青山会長から当クラブの協議会委員として青山会長、辻さん、川岸さん、茶谷さん、書記として島田さんが提案され拍手で承認された。

敬称は今後「〇〇さん」で統一

総会終了後、青山晶子さんから、多様性やジェンダーへの意識が高まっている現状や女性会員を増やすためにも当会会員同士の敬称を現在の「君」から「さん」に改めたらどうかと提案があった。出席者からは「ロータリーの規定に決められた敬称はない」、「明らかに目上の人を君付けで呼ぶのに抵抗はあった」、「ロータリーの公平の精神にふさわしい」など賛同の意見がよせられ、青山会長が次回例会から「さん」付けで呼び合うことで統一することを決めた。



敬称を「さん」に統一することを提案する青山晶子さん

※会報の敬称も今号から「さん」に統一しました。